

# 一行詩

令和8年度

犯罪被害者月間  
(11月1日～12月1日)

# いのち 「生命のこえ」 コンテスト



## 令和7年度 最優秀作品

### 小学生の部

「お母さん、天国で元気で  
くらしていますか。」  
短冊に書いて一番見える所にかざった。  
お姉ちゃんも元気だよ。

古小路 由之介 (川島小4年)

### 中学生の部

地震のアラーム。熟睡中の私に  
突然、母が急に覆いかぶさる。  
収まるまでギュッとしてくれる。  
その重さに安心。

甲斐 心乃美 (鷗翔中1年)

### 高校生の部

祖父がくれたお年玉の袋。  
もうお金は使ったけれど、  
なぜか捨てられない。  
袋の中に祖父がいる気がして。

山下 華乃 (小林高2年)

### 一般の部

お母さんとよく温泉行ったね。  
今は私が運転手。  
お父さん、旅立った日の様に  
今年も庭の曇珠沙華は満開です。

田崎 香織 (日之影町)

とうと いのち  
テーマ 「尊い生命」  
いのち  
～未来へ続く生命のこえ～

全国各地で、殺人、強盗などの凶悪犯罪や少年のいじめによる自殺など「人の命の尊さ」を軽視したような事件・事故などが後を絶ちません。今回、宮崎県内の小・中・高校生や、一般の方々から一行詩を募集し、これらの方々、「人の命の尊さ」について考えていただき、犯罪の被害にあわれた方やそのご家族の辛くて悲しい思いを知っていただくことによって、これらの事件事故が一件でも減少することを祈るとともに、ひいては、安全で安心なまちづくりに寄与したいというものです。

※一行詩とは、短い詩のことです。一息で読める長さを一行として50字以内で表現してください。

募集期間 令和8年7月1日(水)～9月4日(金)

応募対象 宮崎県内在住の小・中・高校生、一般の方

応募方法 ハガキ・FAX・応募用紙にて受付、一人2作品までとし、自作で未発表のものに限ります。  
住所・氏名(フリガナ)・年齢・職業(学校名・学年)・電話番号を明記してください。

発表 10月下旬。入賞者への連絡をもって発表とかえさせていただきます。  
応募作品は、みやざき被害者支援センターに帰属するものとします。

表彰 令和8年11月3日(火) メディキット県民文化センター イベントホール  
「犯罪被害者支援フォーラム」において表彰式を行う予定です。

副賞 最優秀賞 5千円相当の賞品／各部門1名  
優秀賞 3千円相当の賞品／各部門5名程度  
入選 1千円相当の賞品／各部門7名程度  
学校賞 1万円相当の賞品／小・中・高各学校1校

主催／(公社)みやざき被害者支援センター 共催／宮崎県警察  
協賛／JA共済連宮崎 協力／宮崎県教育委員会  
後援／宮崎県、宮崎県弁護士会、宮崎県公認心理師・臨床心理士会、  
MRT宮崎放送、UMKテレビ宮崎、宮崎日日新聞社、夕刊デイリー新聞社

応募・お問い合わせ [みやざき被害者支援センター](#) [検索](#)



宮崎県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

公益社団法人 **みやざき被害者支援センター**

〒880-0803 宮崎市旭1丁目2番2号

TEL 0985-38-7831 FAX 0985-65-7831